

今号の主な内容

- 2 岡山県老人福祉大学閉講
- 3 岡山県総合社会福祉大会
- 4 全国老人クラブ大会
- 5 岡山県高齢者ゲートボール大会
- 6 高齢者地域リーダー研修会
- 7 岡山県高齢者グラウンド・ゴルフ大会
- 10 女子リーダーセミナー
- 11 消費者被害防止見守りサポーター
- 14 加入促進表彰
高齢者交通安全ニュース



岡山県老連は50周年を機に愛称を『晴ればれシニア岡山』とし、広報紙の名称も変更しました。

第12号

おかやま県老連だより
(通巻81号)
平成27年2月1日号



全ての県民が明るい笑顔で暮らす
「生き生き岡山」を目指して

岡山県知事 伊原木 隆太

また、産業の振興については、

今年11月には、岡山の魅力を

引き続き、県政の基本目標で



新年挨拶

公益財団法人
岡山県老人クラブ連合会
会長 松尾 武司

また、先の大衆議院議員選挙で

また、これから10年先の20

私が身と思えば協力するのも苦

平成26年度
(第39次)

岡山県老人福祉大学 閉講

高齢者が心身共に健康で自立した毎日を過ごすことが出来るよう、広い視野に立ち、様々なものを学び、考え、身につけるために本大学を開講しました。

6月5日岡山会場を皮切りに、県下4地域で実施し、11月27日の倉敷会場の閉講を持って全日程を終了しました。今年度は825名の方が受講され、このう

ち678名の方が無事所定の講義を修了されました。修了者の内、栄誉賞（これまでに8回受講）27名、奨励賞（これまでに3回受講）122名がそれぞれ受賞さ

れ、また今年度より栄誉賞受賞済みの方には受講料を無料にし、73名の方が受講されました。

毎年、皆さんに頂いたアンケートのご意見・ご要望を次年度の老人福祉大学の企画・運営の参考にしています。

現在予定している平成27年度の講師の先生方は次の通りです（会場のスケジュール、講師の都合等により、講師の先生および講義内容が変更になる場合もあります）。来年度の受講生の募集は4月上旬頃に市町村老連を通じてご案内させていただきますので、多くの方のご受講をお願いします。

〈講義内容〉

6月

「1日の適量って？手ばかりをマスターしよう!!」

全国健康保険協会岡山支部

保健グループ管理栄養士 清家 李恵 氏

7月

「番組制作の裏側」

テレビせとうち報道制作部長 天野憲一郎 氏

プロデューサー 遠藤 美穂 氏

アナウンサー 浅井 批文 氏

9月

「かしこい老後、たのしい老後を過ごす為の知恵!」

ファイナンシャルプランナー 三上 雅也 氏

10月

「元氣体操で生き生きライフ

——しっかり動いてリフレッシュしましょう!!——

岡山県南部健康づくりセンター

運動指導員 森下 明恵 氏

11月

「笑う門には福（健康）来る」

落語家 雷門 喜助 師匠



◆太田健一先生

（山陽学園大学名誉教授）

◆猪木正実先生

（フリー編集記者）

◆發坂耕治先生

（岡山県南部健康づくりセンター 理事・保健部長・附属診療所長・医師）

◆住宅正人先生

（桃太郎のからくり博物館 館長・気象予報士）

◆桂米裕先生

（落語家・矢掛町多聞寺 副住職）



伊原木岡山県知事あいざつ

平成26年度岡山県総合社会福祉大会が平成26年10月9日、岡山市民会館にて開催されました。この大会は岡山県老人クラブ連合会・岡山県社会福祉協議会をはじめとする社会福祉関係団体（9団体）が共同して開催したものです。これまで県老連単独で開催していた老人クラブ大会（表彰・講演）は、合理化を図るため、この大会の中で合同で開催することと致しました。

ことはをいただき、表彰に移りました。その後、岡山県議会 小田圭一議長、岡山県市長会会長 黒田晋氏（玉野市長）、岡山県町村会会長 河島建一氏（久米南町長）よりお祝いのご言葉を頂きました。

特別講演は「誰もが幸せに生きるために」と題し、古屋和雄氏（元NHKアナウンサー・文化外国語専門学校校長）にご講演いただきました。阪神淡路大震災の際、アナウンサーとして現場に入り人間味あふれるレポートをされたエピソードをはじめ、「誰もが幸せに生きるため」には、競争ではなく共生社会の実現が必要なことをお話されました。

続いて表彰に移り岡山県老人クラブ連合会会長表彰の受賞代表者として松村憲利氏に贈られました。

岡山県老人クラブ連合会会長表彰 各部門の受賞者は次の通りです。



老人クラブ運営功労者

53名

《玉野市》	鈴木 吉弘
矢野 慶三	香川八重子
余傳 福正	坊寺 美彦
土岐 守	
《備前市》	寺見 史朗
《瀬戸内市》	山口 史郎
松村 憲利	野坂 幸夫
山本 敬江	
《赤磐市》	江原 光郎
中永征太郎	
《吉備中央町》	松井 正壽
城本 將	
《倉敷市》	末永 征基
三宅 恒昌	佐々木繁樹
藤原 久志	中村 博
廣田 博	生田 雅彦
下島 重春	高橋 常太
安原 尚一	伊藤 貞良
福武 石夫	
《笠岡市》	松田 勝由
小林 祥人	
《井原市》	細川 卓志
《総社市》	平田 邦彦
内山 克良	渡辺 哲男
《高梁市》	戸清榮一郎
岩原 忠正	水川 利之
中迫 義隆	
《新見市》	林 博
荒木 章男	
《浅口市》	応本 義朗
遠藤 昭二	
《里庄町》	小野 昇
《矢掛町》	妹尾 光
鈴木 功	
《津山市》	高山幸之輔

岡山県老人クラブ連合会会長表彰

渡邊 健治

題佛 祐

《高梁市》玉川親友会

《新見市》ゆずりは城楽会

昭和町地区寿会

《浅口市》立石老人クラブ

木ノ元長寿会

《津山市》高野八区老人クラブ

旭ヶ丘三寿会

健生会

《美作市》中筋クラブ

福寿会真神

栗野老人クラブ

《奈義町》桜美会

《久米南町》誕生寺地区

老人クラブ連合会

瀬戸内市老人クラブ連合会

ひまわり会 玉津地区会長

松村 憲利

この度は、私の様な未熟者が岡山県老人クラブ連合会より多大な賞を受ける運びとなりましたのも瀬戸内市老人クラブ連合会長はじめ、ひまわり会皆様方のご指導の賜物と感謝していただきます。これからも、一層努力して行きたいと思えます。最後に有難う御座いました。

15団体

《赤磐市》尾谷区老人クラブ

《倉敷市》明和クラブ

《岡山県保健福祉部長表彰

◆老人福祉功労(老人クラブ役員)

◆老人福祉功労(老人クラブ)

《岡山市南区》小橋 二郎

仁科 満喜

《倉敷市》小野 幸助

土倉 綾子

《真庭市》稲田富美子

《岡山市南区》第2宗津成美会

並一和楽会

《岡山市北区》平野みどり会

《倉敷市》永楽クラブ

シニア北川西

《赤磐市》沼田睦会

《新見市》井倉松寿会

田治部下老人クラブ

《津山市》田中健康クラブ

《岡山市南区》逢坂 澄夫

《岡山市中区》影山 廣和

《岡山市北区》片山 琢美

三垣 修

《岡山市東区》徳田 耕一

《倉敷市》板谷登美江

井上 晴夫

小田 景二

《新見市》田淵 延夫

松永 静人

三輪 智

森岡百合子

《高梁市》第2白寿会

《真庭市》早川会

矢戸第三老人クラブ

《岡山県保健福祉部長表彰

◆老人福祉功労(老人クラブ役員)

◆老人福祉功労(老人クラブ)

《岡山市南区》泉田白寿会

《倉敷市》水島地区老人クラブ連合会

《津山市》津山市老人クラブ連合会 津山支部

《吉備中央町》納地老人クラブ

山陽新聞社会事業団理事長感謝状

※誌面の都合上、掲載は受賞代表者お一人とさせていただきますこと、ご了承ください。

2014.10.9



第43回全国老人クラブ大会開催

第43回全国老人クラブ大会に参加して

岡山県老人クラブ連合会

副会長 藤本 毅

「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

このメインテーマのもとに平成26年11月13日・14日の2日間、大分県に全国から老人クラブ関係者・行政並びに社会福祉協議会等の老人クラブ担当役員など1,600名が別府市国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）に集結しました。

超高齢社会の到来のなかで要介護者の増加、高齢者の孤立・高齢消費者被害の拡大など、様々な課題に取り組むクラブ活動の展開が求められております。

今大会での活動交流部会では第1部会、クラブの活性化、会員増強、第2部会高齢者の居場所づくり、第3部会 演じる活動の3部会で岡山県老連からの参加者8名はそれぞれ分かれて参加交流しました。又「地域づくりと高齢者の役割」今大切なこと」と題して、豊の国宇佐市塾代表、教覚寺住職 平田崇英氏の記念講演が行われました。

平田崇英氏の主な略歴…
龍谷大学 地域づくり団体

豊の国宇佐市塾生代表、浄土真宗本願寺派教覚寺住職、老人クラブ会員
主な内容…老人クラブに入って感じたこと
宇佐海軍航空隊の歴史に取り組み（平和を学ぶ伝承活動）
すばらしい地域とは？
など感銘を受けました。

大会宣言

- 一、老人クラブ「100万人会員増強運動」の展開
- 一、健康寿命をのぼす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、生活を支援する「地域支え合い（友愛）活動」の推進
- 一、消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

以上、5つの事項の実践を誓い合い、全国の仲間と固い絆を結ぶ大分県別府大会となりました。
岡山県老連参加8名、岡山市老連参加6名は全ての行動を共にしました。

岡山県老連関係受賞者は次の通りです。

全国老人クラブ連合会 会長表彰

「老人クラブ育成功労表彰」

- ◇津山市 藤本 毅
- ◇備前市 井上 邦允
- ◇倉敷市 岡本 年郎
- ◇岡山市 山上 勤

「優良老人クラブ表彰」

- ◇玉野市 奥玉さわかクラブ
- ◇真庭市 頼山会

「優良群市区町村 老人クラブ連合会表彰」

- ◇新見市 新見市大佐地区老人クラブ連合会

この日は南国九州の屋根といわれる名山に初冠雪を遠望し、日本一を誇る湯の郷別府市の温かい歓迎とおもてなしに感謝感激し、多くの思い出を残した2日間の全国大会でありました。全てを語り尽くせないのが残念です。いずれ又の機会に…。



第1回岡山県高齢者ゲートボール大会

鏡野町老人クラブ連合会
会長 安藤美雄

第1回岡山県高齢者ゲートボール大会は、10月24日(金)鏡野ドームに於いて開催、無事修了致しました。ご協力をいただいた皆さんに感謝すると共に報告をし、ご意見等を戴き、今後の活動の参考に致したいと思います。ありがとうございます。御座いました。

●大会開催への道

岡山県老人クラブ連合会では、平成24年度に50周年記念事業として『高齢者グラウンド・ゴルフ大会』を行う事になりましたが、ゲートボール大会は予定されていませんでした。会員の中には少数とは云え、ゲートボールを楽しんでいる人が居るので、是非、県大会を開催して欲しいと再三要望、やっと県大会の開催にこぎつけました。

ゲートボールはチームプレーで有ることから絆を作り、考える事から今、社会的に問題視されている認知症予防になります。皆さんがテレビの前で手に汗を握り応援をして居るなど、こじやパンや湯郷ベルは個人プレーではなく、お互いに助け合う絆プレーです。

全国ゲートボール協会では、日本で生まれたスポーツであるゲートボールを国

体の競技種目に加えるよう運動中で、現在は公開競技ですが、国際化され今年度の第11回世界ゲートボール選手権大会は、新潟に20ヶ国・96チームが集いました(鳥取が2位、岡山は16位)。

●準備

山上会長の時、事務局長と会場視察に来町、その時、町長に面談し、協賛をお願いするとともに山田養蜂場へもご案内を致し、協力要請をしてもらいました。そして実行は松尾会長にと繋がりましたが、担当事務局は初めてで大変だったと思います。大会要綱を作るにも打ち合わせと訂正がありました。

●趣旨

県下の老人クラブ会員をはじめ地域高齢者が本大会を通じ、頭を使い考えることによって大きな社会問題となっている認知症を予防し、更なる健康を維持・増進し、健康寿命の延伸を図ること及び相互の交流と親睦を深め、それぞれの生活を豊かにすることを目的とします。



●参加チーム

岡山・倉敷は2チーム、他は1チームの32チームの参加でしたが、4市4町1村の不参加が有りしました。連絡した処、「知らない、聞いて居ない」との事、連絡の不徹底でした。不足分の補充は可能でしたが：今回はこれで行くとの指示で不足のままの開催!!

●お世話になりました

主管の県協の実務を務めた鏡野町老人クラブ、協会の皆さんにはご苦勞様でした。又協賛をお願い致しました株式会社山田養蜂場様には、お礼を申し上げ今後のご支援をお願い致します。

上位入賞チームは次の通りです。おめでとうございます。

優勝	浅口市	浅口GBクラブ	玉野市	玉野市
準優勝	備前市	備前さつき	赤磐市	あかいわ
3位	新見市	新見市老連	真庭市	美甘チーム
4位	和気町	和気益原	倉敷市	倉敷B

第1回岡山県高齢者ゲートボール大会





高齢者地域リーダー研修会

平成26年度の高齢者地域リーダー研修会は「豊かな活力ある長寿社会を実現していくため、当面する課題について研究討議を行うことにより、高齢者リーダーの資質向上を図ること」を目的として、単位クラブの正・副会長等の役員をはじめ、市町村老連事務担当者、老人クラブ以外の地域高齢者団体のリーダー等高齢者福祉に関心のある方を対象に積極的な参加を呼びかけ、下記日程で開催しました。



今年度はmotoひょうご事務局長 栗木 剛先生に「これからの老人クラブに期待すること」と題し講演を依頼しましたが、日程調整がつかず先生の講演は津山会場のみとなりました。27年度は残り5会場へ先生をお呼びすることになっていますのでご期待下さい。

◆開催期日と場所

岡山 6月26日(木) 155名 きらめきプラザ	東備 9月12日(金) 58名 和気町役場	倉敷 7月29日(火) 107名 くらしき健康福祉プラザ	高梁 9月3日(水) 83名 高梁総合文化会館 他	津山 9月9日(火) 84名 津山市総合福祉会館	美作 10月2日(木) 56名 湯郷地域交流センター
合計 543名					

◆研修内容

①事業説明

「平成26年度県老連事業について」県老連事務局

②講義

(1)「今後の県老連の運営方針について」県老連会長 松尾 武司

(2)「これからの老人クラブに期待すること」motoひょうご事務局長 栗木 剛氏 (津山会場のみ)

県老連常務理事 滝川 誠一

③グループ討議「2万5千人会員増強運動の取り組みについて」小物作り教室「折り紙、手芸など」

④全体会・閉会 グループ報告、まとめ、意見交換等

これまでの研修会の報告は、事務局が担当していましたが、今回は趣向を変え、受講者の岡山市老連副会長(女性委員) 田村満須三様に感想も含め開催状況の報告をしていただきました。

岡山市老人クラブ連合会 副会長 田村満須三

岡山市政令指定都市の移行に伴い、岡山市老連は県老連を離れ独立致しました。今、手探りの状態で1年を迎えようとしております。思い返してみますと、平素から多彩な活動を通して知識や経験を学ばせていただきました。津山、倉敷と女性研修会に参加させていただき、多くの方との交流の中に貴重なお話も聞かせていただき私の宝物としています。又特に「女性の化粧」の研修会では美しく生き活きとした変わりように「有り難うございました」とお礼を言っておりました。やはり女性の元気な活力の原点は、お化粧、おしゃれかなと気づかれました。このような場づくりも大切な研修の場ですね。

今年度のリーダー研修会は、男性、女性のリーダーが集い、最後のグループ討議の時間はグループ討議をするグループと小物作りをするグループの二手に別れて行われ、大変良い研修だったと思います。皆さんも同じ気持ちではなかったでしょうか。グループ討議の時、女性参加者は1時間、折紙細工を勉強し有意義な研修で終わりました。男性の方も何名かは参加して下さいました。細かい色紙で折る作業ですが、熱心に大きな指で一生懸命作られる姿に感動するとともに、立派な巾着袋が出来上がった時の表情は何とも言えないものがありました。地域に持ち帰って会員さんに教えて下さったと聞き、誠に嬉しい限りです。リーダーとして女性の立場になつてのお心遣いだったのではと感じました。

今年度から全老連の運動は、「消費者被害防止」と「100万人会員増強運動」の2つです。又女性委員会のテーマは「女性会員の力を地域やクラブで発揮しよう」です。27年に向けては、市町村が中心となつて地域の支え合いの仕組み作り、高齢者の暮らしを支えていく取り組みが始まる中で、高齢者自身も担い手として大きく期待されています。新テーマ「うー!地域づくりを」はやはり健康な高齢者でないと出来ないことです。自律した生活、生きがいのある生活の実現に向かって、仲間や高齢者が共に取り組んで行き住みよい安全安心な地域づくりをめざしたいものです。それには、先輩達の築かれた「必ずやる」という実行行動力を大切に受け継いで行きたいものです。そのような心構えを身につける為には、更に実り多いリーダー研修の場を求めて行きたいと思っております。

第3回 岡山県高齢者グラウンド・ゴルフ大会



右端：山本秋野さん

グラウンド・ゴルフについて 久米南町老人クラブ連合会 山本 秋野

私がグラウンド・ゴルフと出会ったのは、定年退職後のことでした。元々主人が先に始めていたのですが、私は定年後に家庭に入って少ししてから、健康のためにやってみようと思ったのがきっかけでした。

現在、グラウンド・ゴルフの練習は、月・水・金の週3回で、用事がないとき以外は必ず行っています。朝からお昼頃まで練習していますが、長い時はお昼過ぎても残って仲間と練習しています。練習がある日は、朝からワクワクして出かけます。特に変わったことはしていませんが、こうやって楽しく練習することが上達につながるのかも知れませんね。ボールを追いかけていると不思議と元気になるような気がします。

試合に出場するようになり、第一回大会で優勝したときは「まさか!」と思いましたが、仲間に支えられて優勝できたと思います。さらにありがたいことに、第二回大会も優勝しました。毎日の練習が実を結び、仲間なくしては連続しての優勝はなかったと思います。もちろん毎回一緒に練習して、長年そばに居てくれる主人の影響も大きいと思います。大会は、勝ち負けが全てではありませんが、優勝・入賞するとやはりうれしいですし、今後の練習の励みになります。

グラウンド・ゴルフは、これからも私たち高齢者が和気藹々と活躍できる場であってほしいと思います。

平成 26 年 11 月 19 日、第 3 回岡山県高齢者グラウンド・ゴルフ大会が岡山県総合グラウンド「カンコースタジアム」で開催されました。秋晴れの空の下、350 名の選手が参加し、白熱した試合に臨む真剣な姿が印象的でした。日頃の練習の成果を発揮していただけたのではないのでしょうか。上位入賞者は次の通りです。

男性の部	優勝	新見市	赤木 計雄
	準優勝	備前市	頼宮 俊一
	3 位	倉敷市	石原 庸雄
	4 位	新見市	角田 裕
	5 位	奈義町	水江 保
女性の部	優勝	倉敷市	三木千恵子
	準優勝	総社市	高見寿和子
	3 位	備前市	川辺富久子
	4 位	久米南町	山本 秋野
	5 位	岡山市	黒住 靖子

今回は第 1 回、第 2 回に優勝された久米南町の山本秋野さんにこれまでの大会に参加された感想やグラウンド・ゴルフに対する思いを伺うことが出来ましたのでご紹介いたします。

和気町

和気町シルバースポーツ大会の開催

和気町老人クラブ連合会 会長 竹内 正

平成 26 年の和気町シルバースポーツ大会が和気町益原のわけドームに会員約 950 名が一堂に会して、開催されました。スポーツを通じて「健康と体力の維持増進と相互の友愛と親睦」を図りました。

9 時 30 分から開会式、国旗の掲揚、大会長の挨拶、町長の激励の言葉、来賓の祝詞等の後、審判長の競技上の注意があり、続いて選手代表の力強い宣誓があり、最後にラジオ体操により体をほぐして競技に入りました。

競技は、オープン種目 5 種目 得点種目 8 種目で競い、間で和気町音頭を会員 250 名が 2 重の輪で踊り、盛り上がっていました。

日頃の健康づくりの成果を発揮され、みんな楽しい一日を過ごしました。今日のエネルギーを糧として、今後の活動に活かします。

得点集計 優勝 本荘北チーム 45.5 点

準優勝 佐伯西チーム 40.0 点

三位 石生チーム 40.0 点 以上が上位チームでした。

※和気町音頭の制定 作詞を公募し、作曲 振りつけして、平成 24 年県老連の創立 50 周年大会に備前地区を代表して披露しました。

とびっこす Topics

県下各クラブの活動紹介



井原市

三原福寿会からの活動報告

井原市老人クラブ連合会 三原福寿会 会長 田中 晃次

私達の生活している地区は、広島県との県境にある山の中、ご縁があつて海外に嫁いだ娘さんが夫の両親に、「これ以上の田舎はない」と通訳したという程の山村です。昭和の市町村合併で後月群三原村から芳井町になり、平成の大合併で井原市芳井町三原になりましたが、過疎化に、核家族化が進み空家が増え、若い人や子供もいなくなり小学校も休校になったままです。

昭和 37 年 7 月 13 日に「三原老人クラブ」として設立、その後「三原福寿会」に改名、現在会員数は 36 名 (男 19 名・女 17 名) で頑張っています。

一、会員研修

◎芳寿大学聴講への参加

◎出前講座による交通安全、振り込め詐欺や悪質商法対策

◎春と秋の交通安全推進大会への参加

◎芳井地区老連等の上部団体、公民館及び三原地区社協等関連団体が行う講習会、シルバー展等へ積極的に参加しています。

二、奉仕活動

◎クリーン作戦参加

◎旧三原小学校 (芳井公民館三原分館) 運動場清掃

◎芳井地区老連女性部活動へ協賛し、会員手製の雑巾を収集し、市内の保育園、幼稚園、小・中学校、老人ホーム等へ配布しています。「今年で 11 年目累計 1 万 2 千枚を超えました。先方様から喜びの言葉や、お心のこもったお礼状が届いております (地区女性部長)。」

三、健康維持

◎芳井地区老連第 29 回ゲートボール大会、第 13 回グラウンド・ゴルフ大会等毎回参

加しています。

◎単位クラブにおいても公民館と共催で地域のグラウンド・ゴルフ大会を開催する等、地域と一緒にスポーツ行事を積極的に行い、健康づくりに努めています。

◎井原市健康医療課及び女性会員の指導により、男性料理教室を実施し、男性会員にも食に対する関心を深めて貰い、健康維持と介護予防に努めています。

四、研修旅行

会員の親睦及び仲間づくりを目的に年 1 回実施。又、芳井地区老連及び芳寿大学が実施する研修旅行へも多くの会員が参加しています。

出前講座開催



地区老連研修旅行



総社市

ペタンク交流会

総社市老人クラブ連合会 女性委員長 森上 直子

前夜の雷がうそのように晴れわたった、さわやかな秋晴れの日、女性委員会のペタンク交流会が行われました。今年で7年目、いきいきシニア総社になって初めてです。

総社には、世界の“さの”というすばらしい指導者がいます。年1回のペタンク交流会も今年は農繁期と重なり出席者が例年より少なく43名になったのが少し残念でした。

会員の元気、やる気、いっぱいの晴れやかな顔に、今年も出会うことができました。上手な人が勝つだけでなく、初めての人にもチャンスあり。会場内はシニアの歓声とため息でにぎわいました。



瀬戸内市

せとうち保健福祉フェスタ 2014へ参加

瀬戸内市老人クラブ連合会

日時：平成26年11月16日(日)9:20～15:00

場所：ゆめトピア長船

(瀬戸内市長船町土師277-4)

テーマ：～であい・ふれあい・ささえあい～



今年も瀬戸内市老連は男性役員さんがニュースポーツ(輪投げ・スカットボール)女性部も役員さんと会員さんと、昔遊びコーナーを担当させていただきました。ニュースポーツについては、子供たちが投げた輪を集めたり、カウントしたり、ボールを拾ったりと大活躍をしました。

昔遊びは ①折り紙で、今大人気の妖怪ウォッチのジバニャン・ウィスパーを作っ

たり、その他にも吊し飾りや折り鶴等々

②ペーパークラフトで消防自動車・パトカーを作り交通安全についても意識を高めていただきました。

③県老連地域リーダー研修で習ったリサイクル工作「ペットボトルの水槽」が大人気でした。女性部の活動の一つをしっかりとPRしました。会場は、親子・お友達・グループで参加の方々の楽しい会話や笑顔に私共老人クラブ員も、テーマのとおりで元気をいただきました。ありがとうございました。



①やわらかめの広告を、おにぎりの大きさにクシャクシャ丸め、△になるように

②テッシュか、半紙できれいに包んで セロテープ

③黒い折紙で海苔、マジックでゴマを、点々...



① 魚 裏表に色がある紙なら、1枚で

折紙は2枚合わせに糊づけ

② 黒糸に、セロテープで付け、魚を少し丸め入れて糸の端は、ペットボトルの口の外にセロテープで

③ ワカメは、切って、縦半分くらいに折ると、立つ

ペットボトルは、色々あって、大きいなら、魚が5匹居るせるかも。
(注)：セロテープは端までシッカリ貼らないと魚がくっつく。

倉敷市

ふれあいの輪、大きく

倉敷市老人クラブ連合会 平田南老人クラブ 扇 順一

「では、只今から決勝戦を行います。カラオケBチームと、北の国からチームは壇上にお上がりください。」競技進行係の呼び出しに、盛大な拍手と「負けるな。頑張れよ～」と、それぞれのチームを応援する声、声が熱気溢れる平田会館会場一杯に響き渡る。「キャプテン一歩前に出てください。いきますよ。最初はグウ・・・。」

11月9日(日)外は晩秋の冷たい雨が明け方から降り、準備していた「ふれあいペタンク大会」が残念ながら中止となった。折角準備したのだから、屋内で出来ることを何かして、子供さん達に、平田で過ごした幼い時の楽しかった思い出と、ふれあいを通して、何かを胸に刻んでもらいたいと、出場者58名に呼びかけ実施したのが、「平田ふれあいペタンク大会屋内ジャンケン競技大会」だ。

平田南北老人クラブが、毎年11月に行っているふれあい行事、参加することによって顔見知りとなり、あいさつが、そして話し合ができて、楽しく過ごせる町にしようと平成の6年から老人クラブが始めた最大のイベント、今年で20回目を迎える。

昨年までは平田公園で、「平田ふれあいゲートボール大会」を開催し、平田町内会・こども会・カラオケ同好会、それに老人クラブが強力チームを編成して、手とり足とり教え教われつつ、競技の頂点を競い合い、お互いの健闘をたたえ絆を深めてきた。

今年は趣を変えてのペタンク大会、屋内でのジャンケン大会、子供と大人の3位までの入賞が決り、嬉々とした顔が集まったの記念撮影。手には賞品とお弁当を掲げて会場を後にする参加者の笑顔は雨の中にも晴れや



かに輝いていた。「とても楽しかったですよ」「老人会の皆さん、良い企画をありがとう」と電話が鳴る。会えば喜び話される。通学する子供達が笑いかけて「おはよう」とあいさつする。その言葉にその笑顔に、大変だった準備の疲れも癒され来年もとファイトが湧く楽しい一日であった。

出席
報告

第26回老人クラブ女性リーダーセミナーに参加して

県老連副会長・女性委員長 木戸 由子
県老連女性副委員長 森上 直子

開催日：平成 26 年 10 月 21 日～22 日 会場：東京都 全社協 第 3～第 5 会議室
開会挨拶：駒場玲子氏 全国老人クラブ連合会副会長・女性委員長 挨拶：齊藤秀樹氏 全国老人クラブ連合会 常務理事

115 名の全国女性委員の参加者を 5 名ずつ 25 グループに分け、「100 万人会員増強運動－女性を増やす取り組みのポイント」と「高齢者の詐欺被害を防ぐ取り組みのポイント」について、活発な意見交換が行われ、それぞれの部会の発表があり、参考にしていきたい内容となりました。

1. 声かけをして誘う
2. 体験（行事に誘う）
3. 趣味を生かすプログラムを作る
4. 健康づくりに誘う

など女性の高齢者パワーに圧倒されました。
続いて高齢者詐欺被害を防ぐ取り組みの報告

1. 誰かに相談する
2. 電話を留守電にしておく
3. 警察に協力を依頼して、被害防止教室を開催する
4. 見守りの時に、一声する
5. 被害にあったら警察に届け出る

二つの大きなテーマをもとに、全会員の約 6 割を占める女性会員の力を発揮し、運動推進に繋げていくことを目的に参加者一人一人が自覚した 2 日間でした。

全老連女性委員の 7 名委員の中国ブロックは田村満須三さん（岡山市）が選出されました。

岡山県老人クラブ連合会事業

▶▶▶ 大学・研修会・講習会

事業名	平成 26 年度	平成 27 年度
老人福祉大学	岡山・倉敷・津山・高梁（各 5 回） 受講者数 834 名	岡山・倉敷・津山・高梁（各 5 回） 募集受講者数 900 名
高齢者地域リーダー研修会	岡山・倉敷・津山・高梁・東備・美作 （各会場 1 回）参加者数 543 名	岡山・倉敷・津山・高梁・東備・美作（各会場 1 回） 募集参加者数 600 名
女性リーダー研修会	高齢者地域リーダー研修会と合同開催	小物づくりについては各地区での開催予定

受講対象者：老人クラブ会員及びそれぞれの事業に感心のある地域高齢者など受講できます。

事業名	平成 26 年度	平成 27 年度
臨 地域包括ケア普及啓発事業研修会（岡山県委託事業）		備前・備中・美作（各 1 回） 募集受講者数 300 名

受講対象者：市町村、学区、地区老連役員、単位クラブ役員を対象に制度の説明、老人クラブの役割・関わり方等について研修します。多数の方の受講をお願いします。

▶▶▶ 助成事業

平成 26 年度実施事業	平成 26 年度 実施老連・クラブ・団体		平成 27 年度 募集予定
地域の元気づくり事業（シルバー基金） ◎一般高齢者を含めた健康づくり・介護予防事業 ○次世代育成・世代間交流支援事業 ●友愛活動事業 実施内容：上記事業のいずれかの 1 事業の実施または、 3 事業の組み合わせでの実施も可。 助成金：原則市町村老連 10 万円以内（単年度）	岡山市 南輝学区老人クラブ連合会 岡山市 芳田学区老人クラブ連合会 総社市 総社市老人クラブ連合会 高梁市 玉川親友会 新見市 木谷桜白寿会 浅口市 寄島支部	津山市 津山市老人クラブ連合会 津山市 城西地区老人クラブ連合会 真庭市 湯原支部 西粟倉村 西粟倉村老人クラブ連合会 美咲町 中央支部	市町村老連及び地域 高齢者団体等：6 団体 実施区域：市町村老 連、支部・地区老連、 単位クラブ
地域の元気づくり事業（健康づくり・介護予防事業） ◎一般高齢者を含めた健康づくり・介護予防事業 単独 実施内容：高齢者の健康づくりに資する事業 助成金：原則市町村老連 10 万円以内（単年度）	岡山市 御津南小学校区 老人クラブ連合会 瀬戸内市 瀬戸内市老人クラブ連合会 赤磐市 赤磐市老人クラブ連合会	新見市 長屋長寿会 矢掛町 美川老人クラブ下高末支部 勝央町 勝央町老人クラブ連合会	市町村老連及び地域 高齢者団体等：7 団体 実施区域：市町村老連、支 部・地区老連、単位クラブ
地域の元気づくり事業（次世代育成支援事業） ○次世代育成・世代間交流支援事業 単独 実施内容：見守り活動、安全パトロール、子育て相談 会等世代間交流事業 助成金：原則市町村老連 10 万円以内（単年度）	備前市 東鶴山老人クラブ連合会 倉敷市 真備地区老連 川辺支部 倉敷市 児島地区老連 児島支部	高梁市 成羽地域老人クラブ 新見市 足見長寿会 鏡野町 鏡野町老人クラブ連合会	市町村老連及び地域 高齢者団体等：7 団体 実施区域：市町村老 連、支部・地区老連、 単位クラブ

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。



今年も振り込め詐欺などの特殊詐欺による被害は増え続け、昨年を上回るペースです。消費生活相談センター等に寄せられる高齢者の被害相談件数も高齢者人口の伸びを上回る勢いで増え、大きな社会問題となっています。

全老連ではこれらの被害を防ぐ取り組みとして高齢者が主体となって「老人クラブ 高齢消費者被害防止キャンペーン」を開始することになりました。26年度から28年度の3年間に全都道府県・政令指定都市で順次取り組み事になります。岡山県老連はいち早く手を挙げ事業採択されました。岡山県では津山市、瀬戸内市、浅口市の各老連で見守りサポーター養成講座を順次開講します。

平成26年11月17日に開催された瀬戸内市の講座の状況を次の通り、報告していただきます。

消費者被害防止見守りサポーター養成講座に参加して

瀬戸内市老人クラブ連合会 会長 吉田建太郎

11月、「老人クラブ 高齢消費者被害防止キャンペーン」の事業の一環として「見守りサポーター養成講座」が県老連の指導の下、関係機関の協力を得て、瀬戸内市総合福祉センターで実施されました。市老連の理事、企画推進部会の委員、及び関係単位クラブの代表、38名が受講しました。

依頼時点で、「キャンペーン」の事業内容、推進について、多々不透明な点がありました。が、「どのように推進するか」は、取り敢えず「養成講座」を受けてからということ。講座を先行しました。今回の講座は1日限りの講習という事で時間的にも制約が多く、「知識教育」が主となり、「考える、検討する」といったカリキュラムは少なく、この点は止むを得ないかなと感じました。しかし、高齢消費者被害を取巻く環境（実態、手口等）、又見守りサポーターの役割等については良く理解出来ました。唯、講座の中で一番指導して頂きたかった事業推進について、特に「関係機関、団体

と連携、協力した被害防止活動」、「広報活動」について本来は実施の市老連、単位クラブでやる事かも知れないが、「例えば……」という事で指導筋道を示して欲しいです。

今回の講座は全体的に意義、タイミング共、良かったと感じました。さらにもう一つ感じたことは、この事業がクラブ活動の活性化

に繋がり、又地域住民とのより深い「ふれあい」、「助け合い」を助長する事が大きく期待出来ることです。

この事を受け、市老連として「これからの取り組み」を検討することは勿論ですが、この「キャンペーン」事業をこれからの単位老人クラブの新規共通必須事業として推進して行く事を検討しております。

■事業概要

		内容	講師	ポイント	時間
1日目 11/17	①はじめに	見守りサポーターの役割	・県老連事務局 ・警察署 ・市町村消費相談員 ・消費生活センター等	事業の目的 (15分)	40分
	②基礎知識	消費者トラブルの現状		現状把握 (25分)	
	③基礎知識	消費者庁作製のDVD学習「地域の見守り力」		DVD(25分)+内容について振り返り学習(15分)	40分
2日目 11/18	④相互学習	これからの取り組みについて		参加者による情報・意見交換 (30分)	30分
	⑤基礎知識	サポーターハンドブックの使い方		活動のポイント解説 (30分) 質問 (10分)	40分
	⑥終了	・見守りサポーターへの期待 ・サポーター証授与		市区町村老連会長 (10分)	10分

今後は津山市と浅口市で開催を予定しています。うまい話には罫があります！年々増える被害を少しでも食い止められるよう、またご自身も被害に遭わないようにするため、リーダーになられた参加者から会員の皆様へ、ノウハウやポイント等、クラブ活動を通して周知いただければと思います。

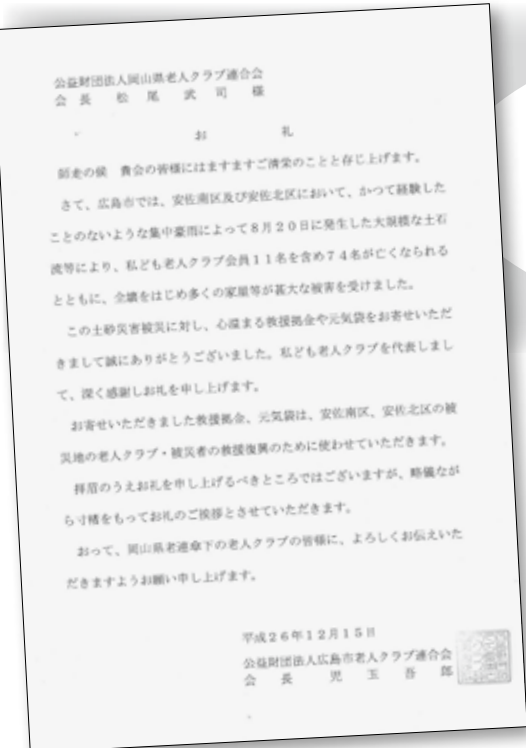


広島市安佐地区 土砂災害に対する 支援の取り組み



平成26年8月20日に発生した広島市安佐地区土砂災害により被災された老人クラブ会員の方々をはじめ多くの方々の1日も早い復興を願い、岡山県老連では11月末を目途に救援拠金の協力要請と女性委員会による元氣袋の作製に取り組みました。その結果、12月9日、市町村老連よりお寄せいただいた善意の救援拠金150,000円とお一人お一人の心を込めて作製して下さった元氣袋668個を広島市老人クラブ連合会へ寄託致しました。会員の皆様方にはお忙しい中、救援拠金と元氣袋作製にご協力いただき、また温かいメッセージも添えていただき、改めて御礼申し上げます。

12月15日、広島市老人クラブ連合会より別添の通りお礼状が届きました。被災地におかれては一日も早く平常の生活を取り戻されるようお祈り申し上げます。



会員の声

健康に感謝して

勝央町老人クラブ連合会

会長 三木 正邦 80 歳



60 歳が過ぎた頃、廻り番の常会長が廻ってきて、まもなく町内会長が亡くなり、町内会長まで指名され、致し方なく受ける破目となりました。部落内のことを見聞きしている内、老人クラブが数名で会長不在の老人クラブとの有様、早速常会長会議を召集して、会員を増強したところ 190 人の会員が集まりました。この様な状態ではと、推薦され勝間田老人クラブを発足、町内の中心であり一番大きなクラブと、町老人クラブ連合会長までも引き受ける事になりました。役を受ければ、次から次へと区長を初め、役場から老人福祉施設の役までと数年は大変でした。

考えて見れば、我が身が健康でないと出来ないと思いい、ここ数年温水プールで 1 時間歩き、その後プールサイドで汗を流す程の運動を 1 時間、施設が月曜日「休館」以外毎日続け、また頭の体操としてカラオケの新曲（発売 2 ヶ月以内）の唄を昨年 1 年間で 410 曲覚え、口にしました。唄えば声を腹から出すので健康に大変良いとラジオで聞いたことがあります。実際、身体の中から外から健康を維持することが出来ます。人の世話をすると云う事は心身共に健康でなければならぬと日々考える様になりました。80 歳の自分の歳を思うとぼちぼち次世代に渡す事を考えなければと思う昨今です。

女性会員を元気にして活躍の場を広げ、その中心となつている佐々木由恵さん

津山市老人クラブ連合会

城西地区老連

会長 堀田 貞信 80 歳

城西老連は 10 の単位クラブで結成されており会員数は 424 名で、そのうち 60% は女性会員です。紹介したい人は、城西老連副会長兼女性部長の佐々木由恵さんです。佐々木さんは笠松いきいきクラブの

会長さんでもあり、城西老連の中で唯一の女性会長さんです。昨年まで活動の中心は男性会員で、何とか女性に活躍の場をと、本年度から女性部長を兼務してもらいました。城西老連では、各単位クラブの会長で構成する運営委員会を、月 1 回開催し情報交換をしています。佐々木さんは、元岡山県体育指導委員協議会の副会長の肩書を持ち、県下はもとより中国地区一円で活動されていました。その実績をいかに発揮され、我々の活動拠点となつていく城西公民館を活用して、ふれあいサロンたんぽぽ



佐々木由恵さん

（女性中心の趣味を生かした研修会）・にこトレスマイル（いきいきクラブ体操とその他の健康体操）・クラフトクラブ（紙バンドで籠や小物作り）・ノルディックウォーキング等を立ち上げました。当初は腰の重かった女性会員や男性会員も口コミ等で参加者が増えうれしい悲鳴が出るほどです。また、地元笠松いきいきクラブでも、親しい仲間 5 人組で銭太鼓・傘踊り・昔懐かしい南京玉すだれ等の練習をして、自前の敬老会を企画し弁当作りから余興までを行って、参加者から感謝されています。

崩壊寸前の限界集落に生きる私の思うこと

美咲町老人クラブ連合会
角石祖母老人クラブ

大倉 昭徳 88 歳

私が住んでいる此の地域は標高 400 メートル以上の急傾斜地なのでどちらを向いても山ばかり道路も上り下りで隣へ行くにも 200 メートル以上歩かなければ、こんな土地での生活は大変なのです。それでも先祖代々何百年も暮らして来たのですが戦後政治経



済が変り、所得倍増経済成長政策により職を町外に求め子供達は高校卒業と同時に会社へ就職し、若い人達も此の地を離れ町外に永住して居りますので人口は減り、行政機関は閉鎖され唯一の交通手段である路線バスも廃止となり日常生活にも事欠く有様です。こんな状態なので高齢化も進み耕作地も全面積の半分以上が荒廃しているのでは？ 増えているのが猪ばかりで、対策に苦慮して居るところです。

今現在、此の様な状況の中で生活していくには先ず健康でなければとの思いからサロン会等、会合の際、保健看護師の方に来て頂き血圧測定、体力検査を行い、又高齢者生活習慣病予防に対する料理教室、認知症予防講話等々、転倒防止の為美咲流コロバン体操（この体操は講習を受けたを方の

指導による)を行い、転ばないよう注意しています。又、ボランティア活動にて出来る限り助け合っておりますが私の所は昔からの習慣で困ったときはお互いに助け合う事は当り前なので何時でも何処でも皆さん助けて下さいますので此の点は安心です。しかし、こんな状態なので後継者がいない限りこの地は崩壊するのではないかと思われなりません。この祖先伝来の墳墓の地を如何に護るかが大きな課題です。

元気老人を目指して

久米南町老人クラブ連合会
女性部副会長

杉山 弘子 74歳



私は田舎の小さな町に住んでいます。周りの家庭はほとんどが高齢者で、一人か二人暮らしの生活をしておられます。お店も遠く食料品や日用品を購入するにも不便なことが多い地域です。怪我をしたり、病気になる隣町のお医者さんまで車を頼んで走らなければなりません。

病院に行く日以外は、ほとんど家の中にこもりがちになっている人もいます。

そこで、地域で2ヶ月に一回程度ですが「いきいきサロン」という日をつくり、集まって手芸や工作、料理を作ったり会食をしたり、その他カラオケや季節によってはお花見会や七夕会など高齢者が楽しめるイベントを行い楽しく過ごしています。

出来るだけ多くの人に参加してもらえよう案内を回します。当日は、愛育委員さんが血圧を測ったり、平素の健康について相談してください。最近ではサロンの日が近づく、『行こうよ!』と誘い合っている声を聞くなどお互いの近づきを感じるようになっていきます。

最近のことでは、カラー軍手を使う手芸でチュールリップを作った時は、作品を自宅の玄関に飾ったり、参加していなかった人に作り方を教えたり…生き生き



と余暇を楽しく過ごしている様子もうかがえます。

近年は平均寿命も延びてきましたが、いくら寿命が長くても健康でなければなりません。それには、バランスの取れた食事や規則正しい生活が大切です。毎日の体調に気をつけ、外に出て近所の人たちと語らい、趣味を持つ仲間を広げて色々な行事や催しに参加し、変化のある生活をして、元気で笑いのある暮らしをしてもらいたいと願うばかりです。

会員加入増強運動についての思い

西栗倉村老人クラブ連合会
大茅老人クラブ

金田 健治 76歳



西栗倉村では100年の森づくり事業が開始されて以降、県内外からの若い人たちの転入で、人口の減少にブレーキが掛ったかなと感じる昨今ですが、高齢者の減少は今も続いております。その中の会員増強運動はなかなか困難な問題です。私の地区の老人会入会の年齢は65歳からですが、対象年齢の人全員に入会頂いても高齢者の減少には追いつきません。



山間地のクラブ共通の悩みかと思えます。山間地の老人会では増強より加入率が重要と思っております。会員は減少しても加入率100%のクラブと成れば素晴らしいではないですか？

大茅老人会には幸いにも現在のところ略100%の加入率を維持しております。これは先輩から引き継いだDNAの結果と思っております。現在会を引っ張って頂いている先輩方の青年時代の活力が続いているのではと思います。昭和30年頃、大茅青年団は田圃、山林を保有し活発に活動していました。その活動の中

から青年団独自の力で公民館建設が提起され、それを見事実現すると云う実績をお持ちの先輩たちです。私たちも年少団員として協力、助け合い、奉仕と現在の老人クラブ活動に通じる行動を教わりました。老人会活動も長い歴史により作られたものと感じております。老人会作りは、私達が地域に解け込み地域の歴史作りに参加させてもらうことから始まると思います。日頃より若い人達との交流を深め老人を理解し認知してもらふこと。そして此の人たちが歳を重ね自然の流れのように老人会員に到達できる環境を作ることが出来れば最高だと思います。

情報交差点

◆加入促進表彰◆

25 年度に実施した会員加入促進について優秀な成績をあげられた次のクラブに対し、表彰状が贈られました。26 年度事業についても同様の表彰を行いますので、単位クラブ等におかれましては、引き続き、会員加入促進活動の推進を宜しくお願い致します。

岡山市	泉田白寿会
	中川三楽会
	湊あずま会
	浦安本町年長クラブ
	芳泉町福寿会
	半田町老人クラブ福寿会
	新屋敷町有楽会
	友愛会
倉敷市	平田南老人クラブ
	中庄康寿会
	亀山福寿会
	西坂老笑会
	早高尚歯会
	下庄下喜楽会
	如蘭社福寿会
	矢住寿老人クラブ
	鶯ヶ丘長寿クラブ
	内田上楽々会
	菰池茶の実会
	沖熊第二福寿クラブ
	田之浦第 1 若潮会

倉敷市	小川第一長寿会
	大畠第 3 わしゅう会
	柳田第一親睦会
	琴峰長寿会
	上郷老人クラブ
	八幡東睦会
	沙美西老人クラブ
	船穂町一之丁一之会 南
津山市	田中健康クラブ
	三浦老人クラブ
	高野 2 区 東雲会
	池ヶ原 福寿会
	宇野 長寿会
	工門 長寿会
	長谷口一〇一会
	きふね 長寿会
笠岡市	富岡寿康会
	城見台末広会
	新横島第一クラブ
	山口前老人クラブ
井原市	共南老人クラブ

井原市	種長寿クラブ
	宇戸谷万寿会
	木之子(中) 慎思クラブ
総社市	四軒家鳥形会
	岡谷もみじ会
	古地地区清寿会
高梁市	金平長寿会
備前市	今崎老人クラブ
新見市	足立再青クラブ
瀬戸内市	西町万年青会
	前島老人会
	邑久駅前だんだん会
赤磐市	立川悠遊クラブ
	正崎老人クラブ和楽会
	福寿会
	山緑会
	四つ葉会
	可真上老人クラブ
	桜が丘東 4・5 丁目老人クラブ
	佐伯北上老人クラブ

浅口市	鴨西老人福祉会
	みどりヶ丘緑寿会
和気町	日笠下老人クラブ
	田原上悠楽会
	津瀬老人クラブ
	苦木老人クラブ
鏡野町	古川芳寿会
	和田老人クラブ

新規クラブ (1 団体)

笠岡市	関戸長楽会
-----	-------

県老連会長が特に認めた場合 (1 団体)

高梁市	中井長寿クラブ
-----	---------

復活クラブ (2 団体)

倉敷市	西阿知町新田ニコニコ会
総社市	新本老人クラブ若輝会

合計：74 団体 (14 市町村)

《表彰の対象》

表彰の対象は、「会員加入促進委員会」を設置している市町村老連の単位クラブで次のいずれかの基準に該当する単位クラブとする。

(単位クラブ)

① 30 人以上の単位クラブで平成 26 年 4 月 1 日の会員数が、前年同日 (平

成 25 年 4 月 1 日) より 10 パーセントの増員数 (純増) 以上であること。

② 新規に設立されたクラブ又は、休会・解散したクラブを復活させたクラブであること。 該当期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

③ その他、県老連会長が特に認めた場合。

※②、③においても 30 人以上とします。

岡山県警察

高齢者交通安全ニュース

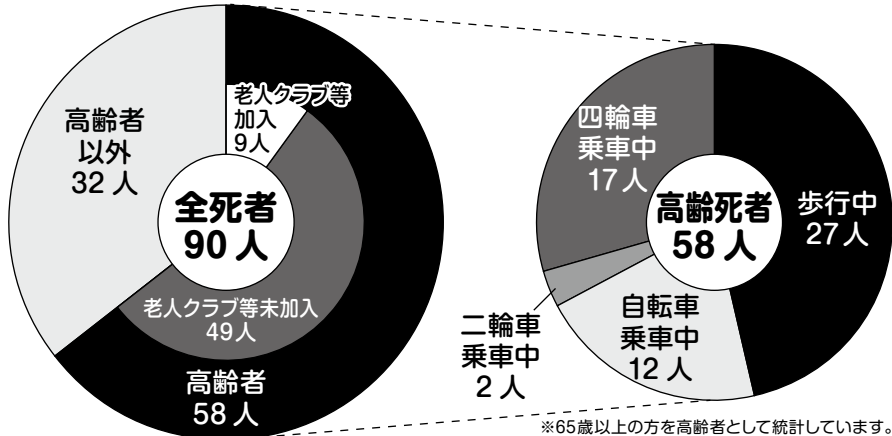
高齢者の交通死亡事故発生状況 (平成 26 年中)

- 県内の死者 90 人 (前年対比 -17 人)
- 65 歳以上 58 人 (前年対比 ± 0 人)
- うち 75 歳以上 39 人 (前年対比 + 5 人)

全死者の
64.4%が
高齢者!!

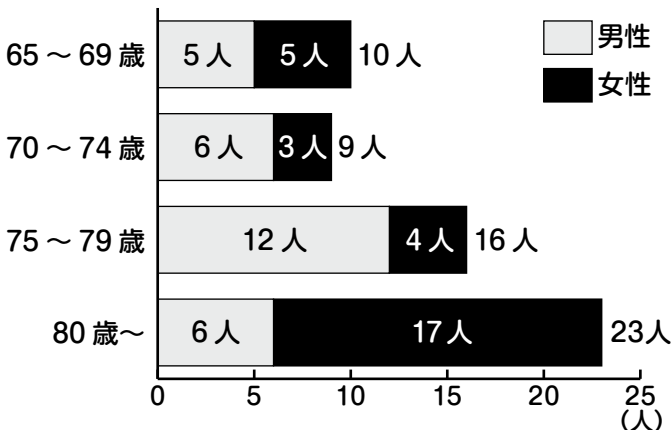


【平成 26 年中高齢者の交通死亡事故状況】



◎ 高齢者が全死者の 64.4%を占め、歩行中の被害が多い！

【高齢者年代別・男女別交通事故死者数】



◎ 80 歳以上の女性が多く被害に！

交通事故防止のポイント！

- ・ 外出したら、帰宅するまで気を抜かず、特に道路の横断時は左右の確認をしましょう。
- ・ 加齢により視力や聴力、歩く速度は低下します。より慎重な行動をしましょう。
- ・ 交差点付近で事故が多発しています。人も車もお互いに道を譲り合いましょう。



ドライバーの皆さん！
冬支度は万全ですか？

- ・ 雪が降ったり路面が凍結して慌てることのないよう、冬用タイヤへの履き替えなど冬支度をしておきましょう。
- ・ 窓ガラスに付いた霜や雪は全ての窓からを取り除き、視界を確保しましょう。
- ・ スピードを控えて車間距離を保ちましょう。

老人クラブ会員の皆さまへ

平成25年10月1日改定

〔平成25年9月1日以降のお申込みから適用〕

ケガの
老人クラブ傷害保険のご案内

総 合 型

24時間いつでも、
どこでも
ケガが心配
という方におすすめ

年間掛金
3,500円

日常生活全般のケガを補償

さらに
充実補償の
年間掛金 5,000円
年間掛金 10,000円
もあります。

チェック
総合型のクラブ活動中のケガの場合は、**白 地** + **薄いグレー** の合計 **黒 色** の補償額が支払われます。
総合型のクラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの補償額が支払われます。

※総合型の掛金・補償額は、職種級別A(無職、事務職等)の方を対象にしたものです。職種級別B(農林業作業等)の方は、掛金、補償額が変更になりますので、代理店または保険会社までお問い合わせください。

年 間 掛 金		総合型 3,500円	
ケガをしたときの状況		クラブ活動型 活動中の ケガの場合	24時間型 活動中以外の ケガの場合
補 償 内 容	死亡保険金	45万円	91万円
		136万円	
	後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	—
		45万円	
補 償 内 容	入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	750円
		1,750円	
補 償 内 容	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	500円
		1,150円	

ク ラ ブ 活 動 型

クラブの
行事や活動に
よく出かける
という方におすすめ

年間掛金
500円

クラブ活動中と
その往復途上のケガを補償

さらに
充実補償の
年間掛金 1,000円
年間掛金 2,000円
もあります。

(注1)後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%～100%が支払われます。)
(注2)手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍また入院中は、10倍となります。

年 間 掛 金		クラブ活動型 500円	
ケガをしたときの状況		活動中の ケガの場合	活動中以外の ケガの場合
補 償 内 容	死亡保険金	45万円	補 償 な し
	後遺障害保険金 ^(注1)	45万円	
	入院保険金日額 ^(注2) (1事故につき30日限度)	1,000円	
	通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円	

公 益 財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係 03-3597-8770 | 受付時間 9:30～17:30
(土、日、祝祭日休)
(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 電話番号 03-3597-8768 (引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社
FAX番号 03-3597-8767 (担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 電話番号 03-3515-4144

■この広告は老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険・普通傷害保険)の概要についてご紹介したものです。詳細は、「募集案内チラシ(平成25年10月1日改定)」「重要事項説明書」「ご加入の際の注意事項」をお読みください。ご不明な点等がありましたら、取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。全老連保険係ホームページ(<http://www.senior-ltd.com/>)でもご確認いただけます。 13-T-03898 平成25年8月作成

2014年
新発売

老人クラブ傷害保険付帯
賠償責任保険のご案内

10月1日から
1年間補償
クラブ会員、全員
一括で加入の場合
のみ中途加入可

対人事故
活動中に
誰かにケガ
をさせてしまった。

どうしよう

対物事故
活動中に誰かの
モノを壊して
しまった。

ご安心ください。

お一人あたり 年間掛金100円 月約8.3円 の保険です。

(お一人年間掛金) [賠償責任] 1億円
年間掛金 全会員数 × 100円 お支払限度額

保険期間 10月1日(午前0時)～翌年10月1日(午後4時)
申込締切 9月15日まで(申込書類必着のこと)
中途加入 全会員一括で加入の場合のみ中途加入可
※中途(会員追加)加入はできません。

※上記保険期間開始後の申込み可能(毎月15日まで申込みの翌月1日から加入)
※ただし、保険期間は加入月にかかわらず10月1日までとなります。 ※お一人年間掛金100円は加入月にかかわらず同額となります。

1クラブ
年1回加入

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

県老連等の行事予定

平成 26 年度		
2 月 17 日(火)・18 日(水)	市町村老連正副会長会議	
2 月 24 日(火)	市町村老連事務担当者会議	
2 月 25 日(水)	県老連第 28 回女性委員会総会	
2 月 25 日(水)	次世代育成支援リーダー養成講習会	
3 月 16 日(月)	平成 26 年度第 2 回県老連理事会	
3 月 16 日(月)	平成 26 年度第 3 回県老連評議員会	
3 月 25 日(水)	地域の元気づくり事業報告会	
平成 27 年度		
4 月下旬	中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会	山口県
5 月 22 日(金)	平成 27 年度第 1 回県老連理事会	
6 月 12 日(金)	平成 27 年度定時県老連評議員会	
7 月 9 日(木)・10 日(金)	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	広島市

平成 27 年度（第 40 次）岡山県老人福祉大学 日程（予定）

	岡 山 岡山県総合福祉会館	倉 敷 くらしき健康福祉プラザ	津 山 津山市総合福祉会館	高 梁 高梁文化交流館
6 月	5 日(金)	10 日(水)	16 日(火)	25 日(木)
7 月	8 日(水)	14 日(火)	24 日(金)	17 日(金)
9 月	2 日(水)	11 日(金)	4 日(金)	14 日(月)
10 月	2 日(金)	20 日(火)	28 日(水)	14 日(水)
11 月	6 日(金)	27 日(金)	25 日(水)	12 日(木)

※講師の都合により日程が変更することがあります。

平成 27 年度高齢者地域リーダー研修会 日程（予定）

岡山	6 月 29 日(月)	きらめきプラザ
美作	7 月 3 日(金)	湯郷地域交流センター
倉敷	7 月 28 日(火)	くらしき健康福祉プラザ
高梁	8 月 27 日(木)	高梁総合文化会館 他
津山	9 月 17 日(木)	津山市総合福祉会館
東備	9 月 30 日(水)	桜が丘いきいき交流センター

※日程は講師の都合により変更することがあります。

交通安全
県民運動

頑張れる熟年

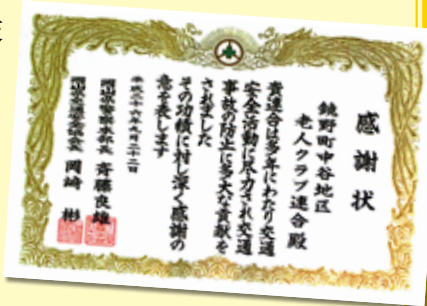
鏡野町老人クラブ連合会 会長 安藤 美雄

「第 21 回無事故・無違反チャレンジ 200 日」の基準に鏡野町交通安全対策協議会の中で「老人クラブもチャレンジしませんか?」との声に地域会長会に提案を致しました。唯一の申し出が中谷地区連合から有りました。

10 名 1 チームの内容は 60 歳代 1 名、80 歳代 1 名の高齢者集団でした。最年長は当て職等で片道 2 時間の岡山迄、月平均 2 回以上運転するとの事。しかし無事達成し、全員安堵の笑顔を鏡野テレビに映す事が出来ました。

9 月 22 日、岡山市にて警察本部長・交通安全協会より感謝状が贈られ、達成感に再度浸りました。

高齢仲間として会員一人一人の交通安全意識を高め、痛ましい交通事故が発生しない事を願い、事故ゼロを目指して高齢者・交通弱者が安心して過ごせる活動を進めるとして『第 22 回無事故・無違反チャレンジ 200 日』に引き続きチャレンジして居る事も申し添えておきます。



編集後記

2014 年に起きた交通事故の死者数が全国的にも岡山県でも減少したとのニュースは喜ばしいことですが、しかし 65 歳以上の高齢者が全体を占める割合は 64.4% と高く、依然として高齢者が事故に巻き込まれている現状が伺えます。

自動車運転中は無理をしないこと、徒歩の場合は横断歩道を使用する、夜間外出時は反射材のついた夜光たすきを着用するなど、簡単なことから身を守っていきましょう。

また、昨年は特殊詐欺被害についても新聞などで大きく誌面を占め、ニュースなどで取り上げられることも少なくありませんでした。昨年 1 月から 11 月までの全国の被害額は約 498 億円、岡山県だけでも約 7.5 億円の被害。大きな金額です！

日頃からアンテナを張り、知識を得ることも大事ですが、知らない会社から突然、電話がかかったり、郵便等が届いた場合は、消費生活センターをはじめ、家族や友人、近所の人等を巻き込んで相談して欲しいと思います。

本年も充実した誌面作りに向け、頑張りますのでどうぞよろしく願い致します。

岡山県

■会 員 数
161,902 人

■クラブ数
2,834 クラブ

(平成 26 年 3 月末現在)

岡山 晴ればんシニア

(発行部数：50,000 部)

発行：(公財)岡山県老人クラブ連合会
〒700-0807 岡山市北区南方 2 丁目 13 番 1 号
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館
(きらめきプラザ内)
TEL (086) 226-2877 FAX (086) 226-2881
企画・印刷：昭和印刷株式会社
岡山市南区豊成 3-1-27 TEL (086) 264-6110